

217

才十号

浪本松田報告

七月廿三日

午前四時三十分着大島公使より電報

計畫通り実行也

午前四時各隊昨日計畫通り運動ヲ始ム

旅団長、京城之侵襲、入シ西島歩兵中佐、米岡代理
セラル

午前四時半韓兵發砲セリ以テ我より應射ヲ戰始ム

午前六時半公署一戸ヲ占ム

戰鬥地より飯米ノ人ノ言、我隊ノ能備昨五時頃合

戦ハ五時十分頃宮城へ侵入セリト云フ

午前五時四十分龍山司令部、留守セリ西島中佐ヲ戰始

メテト電報ス

午前五時五十分着武田中佐より

四時四十分迎秋門ヲ破壊スル薬量不足ニテ破レス

尚破壊ノ為メ少ク時間ヲ要ス

午前六時五十分西島中佐、韓兵逃ヲ銃五十分捕ハ電

報ス

午前八時十分着武田中佐より

親軍吐衝内、テミキニ百四十挺火銃銃二百十四挺

大砲九門野砲六門（其他武器種々）集メ置キ兵卒

三百名ヲ進出セリ

午前八時四十分西島中佐、各捕、武田中佐、為メ各隊

ノ騎兵ニ士官ヲ付シ王城内ニ送リ武田中佐ノ指揮ヲ受

ケレタ有電報

午前九時泰山、殘レ西島中佐より、當地孔德里及泰山

218

尋常中隊より諸部警戒に充ちしより七時十五分出

二時九時十分第六中隊豫備一身早山岩吉戦死ノ

旨武田中佐より報告

二時九時十分着武田中佐より癸卯雅和門報告

唯今國王、將調王、雅和門、死

受取、先砲銃ノ種類負数、目下取調中

敵ノ死傷ハ五六名了

第六中隊、豫備兵一死下士一傷第三中隊ノ死傷

ハ不明

二時十分時情況視察、出見平城騎兵少尉ノ報告

七月廿日京城王宮附近ノ情況偵察ノ報告

本日午前四時四十分步兵第五隊一部、迎秋門到着

第三中隊王宮西方より第六中隊王宮東方より王宮

北後、迂回セリ、朝鮮兵、射撃ヲ始メ、其ノ中隊ヲ
増加シ、向テ射撃ヲ始メ、是ト同時、迎秋門、其ノ一部ハ
門ヲ破壊シ、王宮内、侵入、捕虜大隊、一部モ光化門左側
ノ壯衛營ヲ襲ヒ、内外相應シテ吶喊セリ

是ニ於テ壯衛營及ヒ王宮内ノ兵ハ、凡ソ武器ヲ棄テ逃走
シ、先ニ我ニ向テ射撃シ、其ノ多ク、自兵方向ニ逃走シ、捕ホ
王宮北方ノ村落内、西ニ名苑埋伏シ、我兵候尋ノ至ルヲ見
テ、自中ニ出テ、射撃ヲ行ヘリ、然レモ王宮各門ハ已ニ我兵ニ
シテ、是ハ歩哨ヲ能ク知リ

午前五時、日本朝鮮國外務省并王宮内より出テ来テ
我公使館、至ルト稱ス、其以テ之、復漸兵ヲ付シテ使館ニ
送リ

午前五時、日本右捕将王宮、来リ、是ニ於テ王ノ所在ヲ詰

問し郷道等せしめん、雅和門（義和門より）より、武器等々発見
 せし、故に收束せしと云、國王出たり来り之を制し、白く日本に便致し、
 向て外務省等より遣り、故に返還するに猶豫ありしと然に
 遂に武器は没収せしとせり、其算数も取調中なり、和兵及び
 フ國王ヲ護衛し大之ヲ慰めたり

午前六時二十分射撃を殆ど止し、午後六時廿分公使館に
 帰還報告せり

備考 吐衛堂より銃（スベール火縄銃混合）及セ刀剣各
 数、前装量銅砲約十門、後装砲（多分クンツフ
 山砲より）六門、皆我手に返り、又王宮内ノ武器
 も大納我手に返り

二十時武田中佐より

各國ノ公使より、先づ王城に入らん、付キテ英語ノ通

年ヲ廻シタシ

一午未上時申着武田中佐より奪ヒシ武馬多し各營及
王宮に於テヲ困ル

一午未上時申武田中佐より

各國公使又ハ米歐人等リ入城ヲ乞フ所ハ入レテ宜シキ裁外交
上、聞シ候ハ付公使ノ命ヲ受ケル可然者少御遣セシメ
目下ハ西洋人等ヲ入レサシ又國王ノ側トテ漢兵二十人等名モ
出スヲ禁シタリ

右何分ノ命ヲ降ツ

一午未上時申着武田中佐より

通行障人ノノ氣知頭ヲ考案上申シテハ如ク死化則テ除外
閉鎖より之ヲ警戒ト又洋人等ノ對面通ヲ避クル多シ

一午未上時申着武田中佐より

報告

午前二時過迎春門より大院君王宮へ入る

午前二時武田中佐より同一報告あり

午後一時半武田中佐より敵人二名入宮國王ノ居室外迄誘導あり

今朝第六中隊ノ進路に何ヲ射撃せし韓兵二名負傷者ヲ治療第三中隊ノ進路ヲ妨ケし韓兵一名即死他三名即死ありトリ

我兵過刻報告せし通り一名即死一名ハ極メテ輕傷あり韓人此レ牙山ノ清兵今朝水原ヲ通過せしト云フ此報告日牙山ノ韓廷より馬ヲ送り來モノ歸リ被スト一例ノ虚説カ
白岳ノ南斜面及頂上、韓兵約十名敵在第六中隊何ニ時射撃ス不得止我兵モ三發一發位應射あり

一王宮へ入る構人ノ一姓名ヲ通シテ又王便館より手札
ヲ持チ来ル入宮ノ一アリ大島公便退宮申直ニ聞ヒレ
可成入宮セシメト云フ

先七日内、積集シタル武器、運搬所迄是親軍出テ
武器運搬運搬ノ掛リ其後銃御醫ノ運搬ノ掛

考テリ

一午後一時五十分癸酉場中佐ノ許、左ノ電報ヲ發ス

七時軍令戰陣令リ已ニお捕リ大砲十五門ヲ銃子

以上ナリ我兵死者二名一名ノ傷者一名下

ナ一時頃大院君大闕へ入

一午後五時奉旅團長參謀副官王宮へ入り拝謁セシ

テ慰ム

一午後九時旅團長帰國セリ

本日西島中佐、龜山、於テ留守中ニ、連奉

一午前五時、第三大隊、松本少佐、ヲ、相生、小島、大尉、被、白、糸

城、向、リ、三、發、ノ、銃、聲、ヲ、聞、リ、五、時、十五、分、新、玉、城、(是、福、宮)

ノ、方、向、ニ、向、テ、突、撃、ノ、聲、ヲ、聞、リ、(第三大隊、嘉、善、地、北、方、高、地、ヲ、占、ム)

一午前五時、十五、分、受、五、時、半、出、松、本、少、佐、ヲ、見、多、福、宮、内、ニ、向、

テ、戦、闘、ノ、起、ル、ヲ、見、シ、

一午前六時、一、十、隊、(歩、兵、第、一、聯、隊)ヲ、倉、庫、ニ、出、シ、置、キ、病、院、

倉、庫、兵、站、監、部、ノ、衛、兵、ノ、北、兵、ト、シ、

一午前六時、多、城、大、嶋、少、佐、ヲ、戦、ヲ、始、メ、ノ、電、報、ヲ、

一午前六時、十分、永、田、砲、兵、少、佐、ヲ、五、時、半、分、武、吉、下、發、報、告、

午前五時、頃、ヲ、時、々、銃、聲、ヲ、聞、リ、

午前五時、廿、分、銃、聲、最、メ、劇、數、王、宮、ノ、東、北、ニ、我、兵、尺、ノ、左、

領、ス、エ、リ、如、シ、

今尚本銃火械より

砲兵陣地ヲ占領ス

(歩兵第五隊ノ奮戦ノ果此

高地)

午前六時五分着同四十分出鐘オ堂ノ傍(南大門道ト東西
大道ノ交叉点ノ邊)橋本少佐より報告

午前五時五分着福宮、高テ銃声ヲ聞ク

口三十分第五中隊斥候ノ報告曰ク王宮ノ后方より隊

兵隊ノ一中隊王宮ニ入りしモノ、戦争ヲシトス

王宮ノ西門より同隊隊ノ二個中隊入ルヲ見シ

午前七時着一戸少佐より昨日ノ報告(一日前四時着出)

今朝処置ヲ旦二日午後七時各中隊長ヲ集メ令セリ乃チ

第三中隊、第六大隊ト光熙門ヲ占ム第四中隊ハ鬼北門ヲ

占ム國王及朝鮮兵ノ兵器ヲ持シテ先ヲ禁メ第三中隊ハ二

時幕營ヲ奏スル

第二中隊ハ明治四時和城ニ集合シ夫より断年候ヲ東大門
ヲ鐘樓以南ノ市街殊々日本居留地

第一中隊ハ午前十時和城ニ集合シ公使地出ノ際之レカ獲
衛ト任ス

注意

韓兵、討シ我ヲ衝突スル勉メテ之ヲ辟クニシ

外國人(支、朝ヲ除ク)城外ニ出シテ者ニシテ我兵ノ

攻撃ヲ乞フ者ハ危害ナキ也此ノ之レヲ獲送スル

聞ハ黨ニシテ我兵ノ救助ヲ乞フモノアレハ候ホ之ヲ救フ

ハシ

各隊ハ一ツヲ秘スル要ム左ノ命令ヲ下ス

各隊ハ本祖警急令受明早報行事ヲ行テ服

装、此方囊ヲ脱シ各員袋ヲ用ユ

行李及此方囊ハ何時ニモ他ニ運送シ得ルナリ

本朝午お二時事今井中尉ヲ南大門ニ乃万少尉ヲ
突門、派遣ス兵員下降輪船ヲ乗大工一名通糸一名
宛其任務外ヨリ我軍隊ノ障礙ナリ城門ヲ
通過セシムルナリ

一暮ハ時五十分旅團長ヨリ分補武器運搬ヲ為ス各隊ノ
輪船ヲ送ルヘキ電報アリ

直ニ各隊ニシテ集メテ少尉ニ付シ城ニ送ルヘキヲ命ジ
一午お十時五分永田砲兵少佐松本少兵少佐ニ篝火
信号ヲ伝ヘシム

一午お一時五十分着七時早オ戦闘全ク止ミ先上各旅團
長ヨリ電報アリ

此時分より、武器非常多敷、シラモ送リシ
 騎兵、ミナミ、二名、早急、到底、足ノ様子、たゞ、
 更、兵站、監部、五十名、人、又、脚、戦、病、死、人、ま、及
 衛生隊、人、負、ツ、出、シ、テ、運、搬、シ、送、リ、テ、人、知、ル、
 一年後、三時、松本、少佐、より、二時、より、五、分、我、工、匠、館、ノ、方、向、
 より、三四、回、一、奇、射、撃、ヲ、開、キ、骨、年、候、ニ、テ、情、況、良
 案、中、ナリ

一年、四、時、より、七、分、爲、三、時、より、四、分、出、橋、本、少佐、より、送、其
 年、三、時、前、親、軍、統、帥、監、部、入、リ、兵、器、巨、多、ヲ、押、収
 其、前、送、リ、我、ヲ、射、撃、シ、タ、多、ク、柳、カ、少、戦、ヲ、シ、傷、死、
 人、被、ハ、悉、ク、北、ニ、向、テ、逃、走、ス、リ、身、人、負、二、百、名、人、
 ナリ

砲、三、門、其、他、ヤ、銃、彈、藥、甚、多、ナリ

二午六時五分第五師團參謀長より補充員武
器及進送品ノ義ニ付送第一三九五師団第一
〇号、ヲ申奉ル

一午六時三十分着大倉山、於厚野大尉ヲ報告七月
廿日發

第一電線部級支隊本日ヨリ部級着年、付第一大本
營ノ訓令、依リ一隊ヲ殘シ大邱尙海ヲ往ラ患州ハ
船ヲ出發ス

下中尉今報歸着セシ、付当地、殘留シム

一大本營副友より中々口食之助ヲ職第、大本營海
軍參謀先セシ 樺山海軍中將海軍令部長大
本營海軍參謀被仰付

日韓會話及歐長報解後各六百部宛送付シ

来

一午後六時三十分着兵站監署（七月五日付）衛生隊長
官ノ意見ニ依リ用時日射病豫所ノ為メ約一尺五寸ノ
白布巾支給ス、依リ後頸掩護ス（ヤ）部午一
訓示北成並方申来（一發令二四号）

一午後六時三十分略第一〇号ニテ大生大本堂副官
より左ノ命令ヲ送付シ来

混成旅団長、呉リ余令

一電線架設、二番年え近第一電線架設支隊ヲ
貴官ノ令下、属ス

一午後八時三十分福島中佐より大院君ノ弟守備兵
増加ノヲ申来、必要ト認ムル旨返電ス

一午後八時四十分福島中佐より電報

多設隊最末ノ通信所ヲ各段ノ間ノ

天候雨

本日夕刻より大砲諸砲三十門ハ叫呂山砲
八門山砲砲台此之レハ不具

小銃モ一とレシントレニ千一取交セ二千

金銃其他火銃銃無數

軍馬十金頭

以上通馬ノ各隊ノ騎卒及人馬等二次ノ騎送

子シテ午後十時とマニ来ヨ騎送陣より一員教ハ

尚調査中ヲ確實ノ教ハ来ス

右及報告候也

明治廿七年七月二十四日

225

混成旅團長大島義昌

参謀總長 嶋仁親王殿

伊波 五

1480

